

トーリック眼内レンズ 正誤表

いつも小社出版物をご利用いただき誠にありがとうございます。

『トーリック眼内レンズ』について以下の誤りがございました。深くお詫びするとともに、ここに訂正致します。

●p. 13 右段 4行目

【誤】 角膜屈折力 (D) = 337.5 × 角膜屈折力 (mm)

【正】 角膜屈折力 (D) = 337.5 ÷ 角膜屈折力 (mm)

●p. 42 左段4行目

【誤】

ここで、

$$\cdot \Delta X = |C_2 \sin A_2 - C_1 \sin A_1| \text{ で、}$$

|C₁ sin A₁| > |C₂ sin A₂| なら正、逆の場合は負.

$$\cdot \Delta Y = |C_2 \cos A_2 - C_1 \cos A_1| \text{ で、}$$

|C₁ cos A₁| > |C₂ cos A₂| なら正、逆の場合は負.

【正】

ここで、

$$\cdot \Delta X = |C_2 \cos A_2 - C_1 \cos A_1| \text{ で、}$$

|C₁ cos A₁| > |C₂ cos A₂| なら正、逆の場合は負.

$$\cdot \Delta Y = |C_2 \sin A_2 - C_1 \sin A_1| \text{ で、}$$

|C₁ sin A₁| < |C₂ sin A₂| なら正、逆の場合は負.

●p. 42 左段 7行目

【誤】 C1D Ax A₁に対しては同様に・・・

【正】 C2D Ax A₂に対しては同様に・・・

●p. 84 図7-9

【誤】 (イラスト左の) 3時

【正】 9時

【誤】 (イラスト右の) 9時

【正】 3時

●p. 87 中段5行目

【誤】 測定する（赤線）．左図では

【正】 測定する（青線）．左図では

●p. 87 中段7行目

【誤】 主経線も確認でき（青線），この例では

【正】 主経線も確認でき（赤線），この例では

●p. 136 2行目

【誤】 2D以上の角膜倒乱視

【正】 2D以上の角膜直乱視

●p. 136 3行目

【誤】 術後裸眼視力は右1.2，左は

【正】 術後裸眼視力は右1.5，左は

●p. 136 術後結果の波面収差解析（乱視），3つの図の説明一番上

【誤】 角膜乱視は術前と同様倒乱視である

【正】 角膜乱視は術前と同様直乱視である

2012年10月現在